

「赤ちゃん体操指導員養成コース」を受講される皆様へ
～感染予防対策について～

赤ちゃん体操資格認定委員会 委員長
よつばみらいクリニック 小野 正恵

「赤ちゃん体操指導員養成コース」では、実習が重要な位置づけになっています。その際、病院あるいは施設に出入りし、お子さんと直接接触することとなります。実習時は、あくまでその実習機関の規定に従っていただきますよう、お願い申し上げます。なお、ワクチンを希望される場合、接種の実施まで時間がかかることも予想されますので、まず罹患歴と、予防接種記録の確認を至急お願いいたします。

お子さん自身が感染症を持っていることもありますし、また病院には様々な感染症の患者さんが受診するとともに、免疫力の弱い患者さんもいます。院内で活動される際は、感染を受ける機会が増えるだけでなく、自分が感染源になってしまうこともあります。

医療従事者は、感染症対策としてB型肝炎、麻疹、風疹、水痘、おたふくの5種類(コロナ、インフル以外)の抗体保持が必須とされています。現在、全国の医療機関が基準としているのが、環境感染学会から出ているガイドラインで、この中で述べられている「医療関係者」には、実習や見学で出入りする方も含まれています。

麻疹(はしか)の感染力は非常に強く、新幹線の車両、あるいは飛行機に同乗しただけで感染した事例が昨今話題となりました。また、带状疱疹発症者が水痘ワクチン未接種のお子さんに接すれば、水痘を発症させることとなります。いずれも空気感染ですから、マスクでは防ぎきれないのです。はっきりした罹患歴があればよいのですが、風疹の誤診率は高いとされます。

麻疹、風疹、水痘、おたふくについては、1歳以上でそれぞれ2回の接種記録がない場合、下表のような接種回数が推奨されています。現在、50歳以上の方には、多くの地方自治体が带状疱疹予防のワクチンに対し補助金を出しておりますのでご活用ください。

ご自身の為にも、接するお子様方の健康を守るためにもご準備頂けますと幸いです。

表 予防接種の記録がない場合の、抗体価による必要予防接種回数

	あと2回予防接種が必要	あと1回必要	今すぐの接種は不要
麻疹	EIA法 (IgG) 2.0未満	2.0～15.9	16.0以上
風疹	HI法 8倍未満	8倍、16倍	32倍以上
	EIA法 (IgG) 2.0未満	2.0～7.9	8.0以上
水痘	EIA法 (IgG) 2.0未満	2.0～3.9	4.0以上
おたふく	EIA法 (IgG) 2.0未満	2.0～3.9	4.0以上

出典 医療関係者のためのワクチンガイドライン第3版 日本環境感染学会 2020より抜粋改変